

響の会との対話集会

場 所：マルシンクリスタルアージュ 小ホール

開催日：2026年6月19日

参加者：9名



今回の対話集会では、「響の会」から提出された提言・要望事項をもとに、市長が各項目について市の考え方を説明した後、参加者との意見交換を行いました。

＜主な内容＞

（１）部局横断型の地産地消サイクル構築について

農業・教育・医療・商工などの関係部局が連携し、地域内で生産された農産物を学校給食や病院給食などへつなぐ仕組みづくりや、IT・AIを活用した需給マッチングの仕組みについて提言がありました。

【市の回答】

市長からは、地域内経済循環や部局間連携の重要性については認識しており、ご提言の趣旨には賛同する一方で、会議体の設置自体を目的とするのではなく、実効性のある仕組みづくりが重要であることを説明しました。また、IT・AIの活用可能性も含め、関係部局が連携しながら実現性や効果について検討していく考えをお伝えしました。

（２）外国籍住民の地域貢献と参画について

外国籍住民を地域社会の担い手として位置付け、地域活動への参画を促進する仕組みづくりについて意見交換を行いました。

【市の回答】

市からは多文化共生の取組状況を説明するとともに、外国籍住民と地域住民が互いに支え合いながら地域づくりに参加できる環境づくりについて意見交換を行いました。

(3) 外国語教育・国際交流について

外国籍住民を地域社会の担い手として位置付け、地域活動への参画を促進する仕組みづくりについて意見交換を行いました。

【市の回答】

市から多文化共生の取組状況を説明するとともに、外国籍住民と地域住民が互いに支え合いながら地域づくりに参加できる環境づくりについて意見交換を行いました。

(4) 防犯カメラ設置について

防犯カメラの設置促進や支援制度について意見交換を行いました。

【市の回答】

市からは、市内における防犯対策の現状や補助制度の考え方について説明するとともに、地域の安全・安心につながる取組について参加者と意見交換を行いました。

(5) シンボルのイベントの創設について

市内で開催されている様々なイベントをつなぐシンボルのイベントや共通コンセプトの創設について意見交換を行いました。

【市の回答】

参加者からは、市内イベントの一体感や地域の魅力発信につながる取組について提言があり、市からは今後の施策を検討する上での参考となるご意見として受け止めました。

(6) 対話集会制度について

対話集会の開催方法や運用について意見交換を行いました。

【市の回答】

参加者からは、休日開催や継続的な意見交換など、より参加しやすい制度運用についてご意見をいただき、市からは現在の運用状況や考え方について説明しました。

市長のコメント

今回の対話集会では、市民の皆さんから具体的な提言をいただき、それぞれのテーマについて率直な意見交換を行うことができました。
市では、今後もこのような対話の機会を通じて、市民の皆さんのご意見を伺いながら、市政運営に取り組んでまいります。